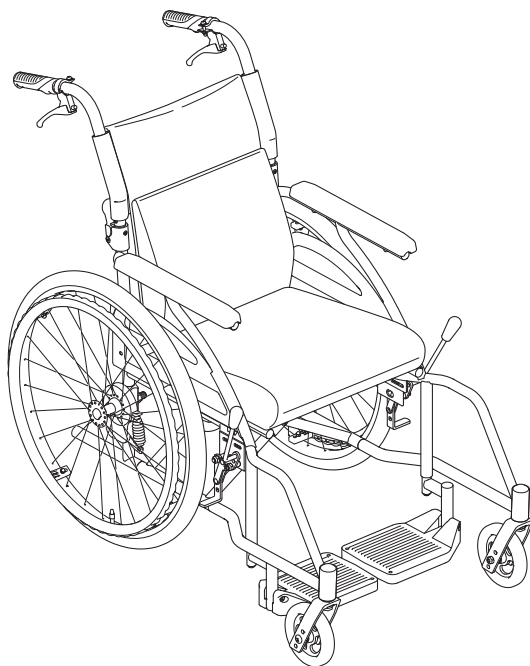

取扱説明書 animato

CA-4331A
CA-4331N



この度は、ランダルコーポレーションの製品をお買い上げ、またはレンタル頂き、まことにありがとうございます。

この「取扱説明書」には、車いすを安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。

ご使用の前に必ずお読みになり正しくお使いください。

また調整手順・点検リストも記載されております。車いすを安全にご使用いただくため、手順をよくご理解頂き、指示に従い正しく作業を行ってください。

※ 本書に記載の意匠、仕様および部品は性能向上の為、一部予告なく変更することがあります。

1. 重要なお知らせ	3
1.1 製品について	3
1.2 介助者へ	3
1.3 お使いになる前に	3
1.4 車いす利用者は、歩行者扱い	3
1.5 飛行機に搭乗される場合	3
1.6 製品を譲渡・貸与する場合	3
1.7 修理のご依頼	4
1.8 廃棄する場合	4
2. 各部の名称とはたらき	5
3. 安全に関するご注意	6
4. 各部の操作方法および使用方法	8
4.1 車いすの揚げ方	8
4.2 車いすのたたみ方	10
5. ブレーキの使用法	11
5.1 駐車用ブレーキを使う	11
5.2 介助ブレーキを使う	11
6. 各部を調整する	12
7. 車いすの使い方	14
7.1 移乗	14
7.2 外出	14
7.3 段差のある場所	14
7.4 電車の乗り降り	14
8. 点検・整備する	15
8.1 日常点検リスト	15
8.2 定期点検リスト	15
9. 清掃する	16
10. 仕様	17
11. 保証について	18
11.1 保証書	18
11.2 保証期間終了後	18
12. 保管する	19
13. 故障かな？と思ったら	19

1. 重要なお知らせ

1.1 製品について

■ 製品の使用目的

この製品は、自力での歩行が困難な方の移動を助ける標準形車いすに以下の特徴を追加した車いすです。

- ・前輪がフットプレートより前に配置された安定設計
- ・脚駆動しやすいよう座面高さが調節可能
- ・誰にでもフィットしやすい調節可能な背・座クッションシート

この製品は 1 人乗りです。耐荷重を守ってお使いください。

■ 同梱部品の確認

本製品には、以下の部品が同梱されていますので確認してください。

部品名	個数	備考
取扱説明書	1 冊	
4 mm六角レンチ	1 個	
5 mm六角レンチ	1 個	
6 mm六角レンチ	1 個	
スパナ	1 個	
座クッション&バックサポートシート	1 個	
背クッション	1 個	

1.2 介助者へ

- ・搭乗者の身体の一部及び衣服（長いマフラー、ひざ掛け、ダブついた服や長ネックレス等）がタイヤ、スポーク、キャスト及び地面、建物、通行者に触れたり、挟まったりしないようにご注意ください。
- ・介助者は、搭乗者を乗せる前に十分に練習を行ってください。
- ・取扱説明書に沿った安全教育を行ってください。
- ・搭乗者と介助者の少なくとも一人が日本語を母国語としない人の場合、搭乗者と介助者の母国語による安全教育を行ってください。

1.3 お使いになる前に

- ・車いすを使用する前に、安全のため各部の点検を行ってください。
 - ・異常を発見した場合は使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
 - ・長期間使用を続けると、劣化が生じます。定期点検が必要です。
- ※ 詳細については、「7 点検・整備する」を参照ください。

1.4 車いす利用者は、歩行者扱い

日本の道路交通法では、車いす利用者は歩行者として取り扱われます。

車いす利用時は、歩行者としての交通ルールを守りましょう。

「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」の道路標識がある歩行者専用道路も通ることができます。

信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。次の「青」信号を待ちましょう。

あせらず、ゆとりを持った横断、走行を心がけましょう。

1.5 飛行機に搭乗される場合

お客様の車いすをご旅行先へ持っていかれる場合は、事前に利用予定航空会社又は旅行代理店にご相談ください。

※ 事前確認なしに空港へ行きますと、航空会社の確認業務に時間がかかり、ご希望の便に間に合わなかったり、せっかくの旅行を取りやめなくてはならなくなったりします。

1.6 製品を譲渡・貸与する場合

この製品を他の方にお譲りまたは貸与される際は、必ず本書もあわせてお渡ししてください。

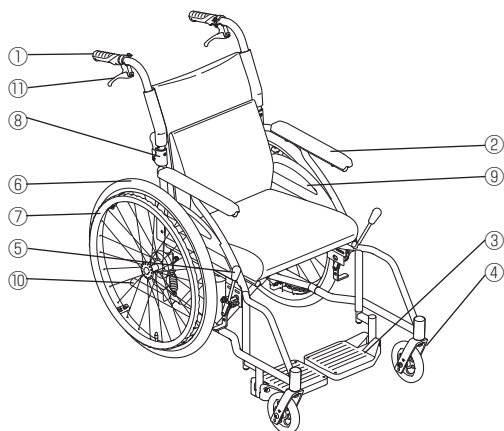
1.7 修理のご依頼

異常がある場合は、使用を中止しお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

1.8 廃棄する場合

製品を廃棄する場合は、地球の環境保護のため、そのまま放置しないで、各自治体の取決めにしただってください。

2. 各部の名称とはたらき



①押手（手押しハンドルグリップ）

介助者が車いすを移動させる際に握る部分です。

②肘掛け（アームサポート）

肘を置いて身体を安定させます。

③ステップ板（フットサポート）

足をのせる板です。

④前車輪（キャスト）

自在に方向転換できる小車輪です。

⑤駐車ブレーキ

車いすを駐車する時に使用します。

⑥後車輪

駆動輪です。

⑦ハンドリム

自走するときに使います。（自走用のみ）

⑧背折れ金具

車いすを折りたたむ際、さらにコンパクトになります。

⑨側板（サイドボード）

衣類等が車輪に巻き込まれるのを防ぎます。

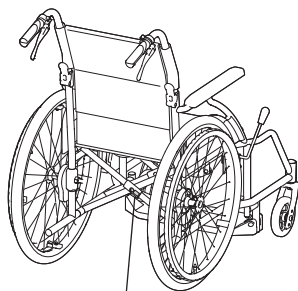
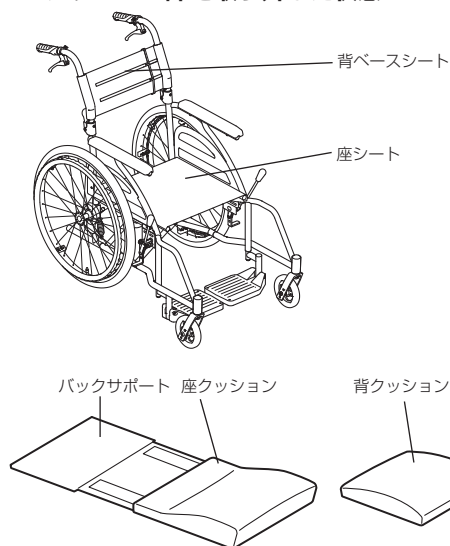
⑩ティッピングレバー

段差を乗り越える際に踏む場所です。

⑪介助ブレーキレバー

介助者制動するためのブレーキです。

クッション部を取り外した状態



3. 安全に関するご注意 ※ ご使用になる前に必ずお読みください。

[表示マークの説明]



警告

この表示は「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は「人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

※ 以下の注意点以外であっても、無理な使用はおやめください。事故の原因になります。



禁止

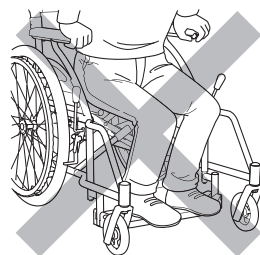
- 道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。



警告

- 車いすに乗り降りの際は、必ずステップ板（フットサポート）を上に跳ね上げてください。

本製品は倒れ難い構造になっていますが、ステップ板の上に乗って車いすに乗り込んだり、降りられるときに立ちあがらないでください。バランスを崩し車いすごと転倒する危険があります。



- 車いすを火気に近づけないでください。

※ シート部が燃えたり、プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。

- 段差や凸凹などのある路面等を走行するときは、身体が前のめりにならないよう充分ご注意ください。

- 車いすに乗り降りの際は、必ず駐車ブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。

※ 傾斜地では駐車しないでください。傾斜地では駐車ブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。

※ 滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても車いすが動く場合があります。

- 傾斜地での走行は、車いすが予想外の方向に進むなど、大変危険です。

- 踏み切りを横断の際は、車輪をレールに対して直角にして走行してください。斜めの角度で進入するとレールの溝にはまって危険です。必ず介助者と一緒にわたってください。

- 坂道の上下の際には、必ず介助者に支えてもらって行ってください。上るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。
- ※ 坂道を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。



警告

- 介助者が車いすを押す場合は、足を必ずステップ板（フットサポート）の上に乗せておいてください。
- ※ 足を地面に付けたりステップ板（フットサポート）から外すと、ステップ板（フットサポート）と地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。
- 背もたれに重いものなどを引っ掛けしないでください。転倒の恐れがあります。
- 勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。（保証対象外）
- 介助者は、絶対に車いすに乗って介助しないでください。
- 車いすを物品運搬など車いす以外の目的に使用しないでください。
- 座シート部以外に腰掛けしないでください。
- 車いすでの走行中は、身体を乗り出さないでください。車いすが不安定になり危険です。
- 段差の前では一旦停止してティッピングレバーを利用して乗り越えてください。決して勢いをつけて乗り越えないでください。大変危険です。また、フレーム及びキャスト車輪等の損傷を受けます。



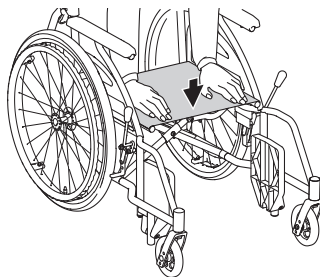
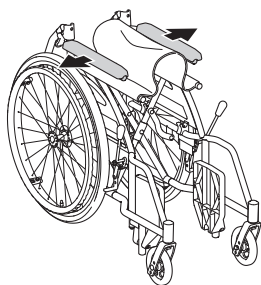
注意

- 車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。
- 夜間、雨降りは通行者や車から発見しにくくなります。充分にご注意ください。
- 認知症の方がご使用される場合は、車いすのシート、部品等を飲み込むことが考えられますので充分ご注意ください。
- 認知症の方がご使用される場合は、一度かけた駐車ブレーキを不意に解除されることがありますので、充分ご注意ください。
- 回転している車輪に指を差し込まないように注意してください。
- タイヤをもって車輪を操作しないでください。ブレーキ等で指をはさみ、大変危険です。
- 下記のようなところに車いすを放置しないでください。
 - ・ 車道に近いところ・人通りのあるところ・路面に段差や凸凹のあるところ
 - ・ 湿気の多いところ・雨風の当たるところ
- 介助者の方は、搭乗者の身体の一部または衣服がタイヤ、スポーク、キャスト及び地面、建物、通行者に触れたりとはさまったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。

4. 各部の操作方法および使用方法

車いすの拡げ方

①左右に拡げます。



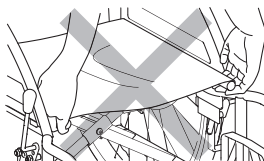
車いすの後方に立ち、左右の肘掛け（アームサポート）を持って両側に軽く拡げます。

片方のフレームを持ち上げて車輪を少し地面から浮かせ、座面端のパイプ部分を手で押し下げます。

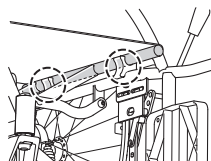


注意

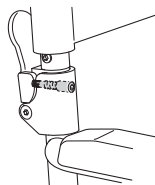
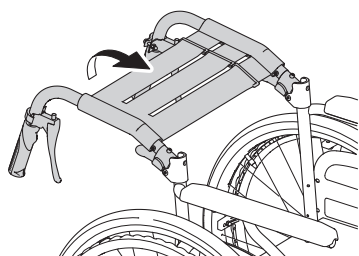
● 座パイプの横や下に手や指を置かないでください。挟まってケガをする恐れがあります。



● シートパイプをシート受けに確実に入れてください。フレームが変形して、事故の原因となります。



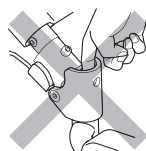
②背もたれを起こします。



ロックピンが完全にロックされている事を確認してください。



注意

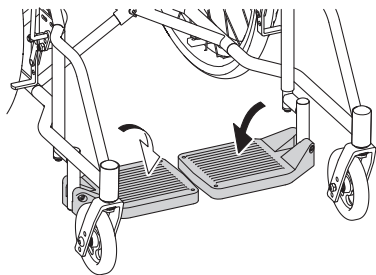


この部分に手や指を置かないでください。挟まってケガをする恐れがあります。

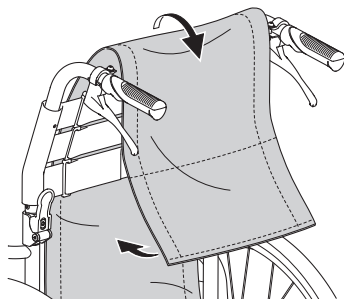
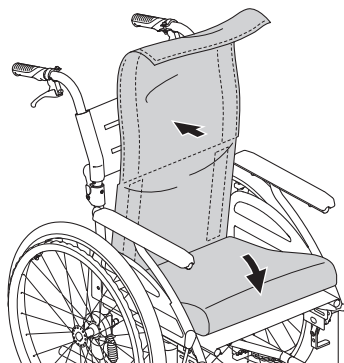
車いすの押手（手押しハンドルグリップ）部分を持ち、上方（矢印の方向）へ引き起こすように持ち上げてください。

※ このとき、片側の手で車いすが動かないように支えるか、あるいは駐車ブレーキをかけてください。

③ステップ板（フットサポート）を内側にたおします。

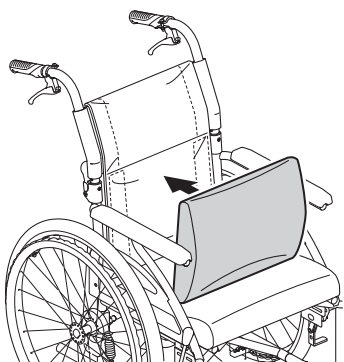


④座クッション&バックサポートを取り付けます。



※ 座クッションは前後に調節できます。P.13 をご覧ください。

⑤背クッションを取り付けます。



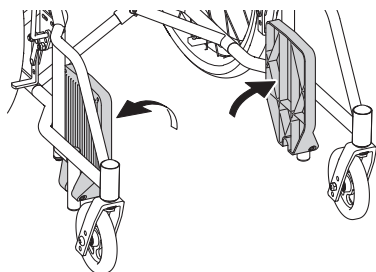
※ 背クッションは上下に調節できます。P.13 をご覧ください。



背クッションのファスナーを下側にして面ファスナーで取り付けます。

車いすのたたみ方

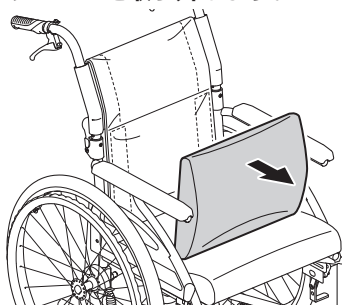
①ステップ板（フットサポート）を跳ね上げます。



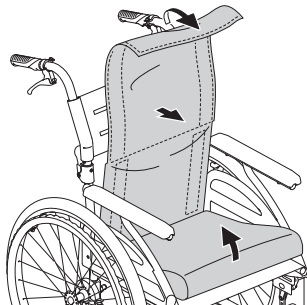
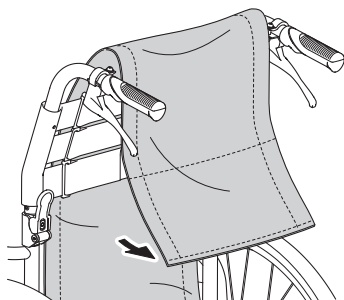
ステップ板（フットサポート）を上方へ（矢印の方向へ）跳ね上げます。

※ ステップ板（フットサポート）を内側にたおした状態のままですと、折りたたみが出来ません。ステップ板（フットサポート）が上方へ上がっていることを確認ください。

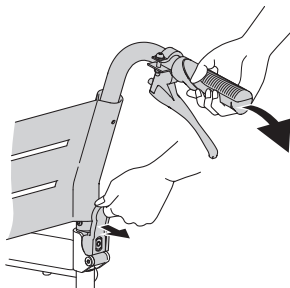
②背クッションを取り外します。



③座クッション&バックサポートを取り外します。



④背もたれを折りたたみます。



注意

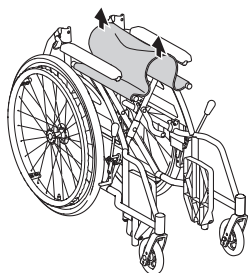


この部分に手や指を置かないでください。挟まってケガをする恐れがあります。

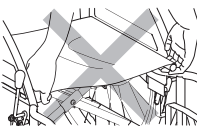
押手（手押しハンドルグリップ）を握り、一方の手で背折れ金具のレバーを後方へ引きながら押手を倒します。

⑤シートを折りたたみます。

座シートの前方と後方の中央部を同時に持ち上げます。



- 座パイプの横や下に手や指を置かないでください。挟まってケガをする恐れがあります。
- 折りたたむ際に、押手を持って左右から押し縮めないで下さい。フレームの破損の原因となります。

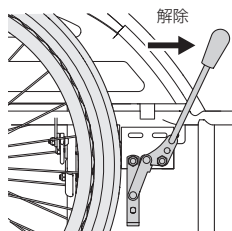
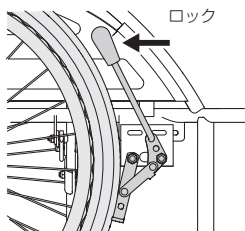


5. ブレーキの使用方法

駐車ブレーキ

車いす乗降時には、必ず駐車ブレーキをかけて、車いすが固定されていることを確認してください。

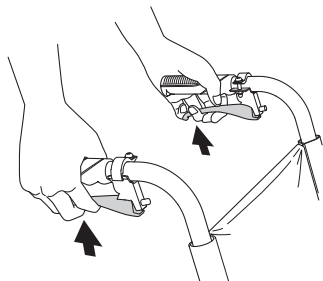
ブレーキレバーを後方に引くとロックし、レバーを前方にすると解除されます。



※ 空気入タイヤをご使用の場合、空気圧が低すぎるとブレーキの効が悪くなります。目安として、タイヤを手で押してもやや硬い程度（軟式野球ボール程度の硬さ）に空気を入れてください。

介助ブレーキ

ブレーキレバーを握るとブレーキがかかり、離すと解除します。



走行中や下り坂での制動ブレーキとしてご使用ください。
ブレーキレバーは介助者の方が必ず両側同時にかけてください。



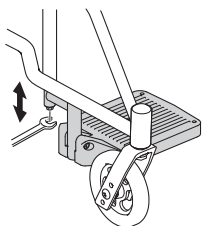
※ 一ヶ月に一度は安全点検を行ってください。

- ブレーキの効き具合が強すぎたり弱すぎたりする場合は、ご使用を中止し販売店にもご相談ください。
- ブレーキは必ず手で操作してください。足などで操作するとブレーキが破損します。
- ブレーキレバーの作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損する恐れがあります。(駐車ブレーキを握って立ち上がるような動作はしないでください。)
- 坂道や傾斜地では駐車しないでください。駐車ブレーキをかけても車いすが動く場合があります、大変危険です。(滑りやすい床面などでは駐車ブレーキをかけても車いすが動く場合があります。)
- ブレーキワイヤーは、安全のために 1 年に 1 度定期的に交換してください。



6. 各部を調整する

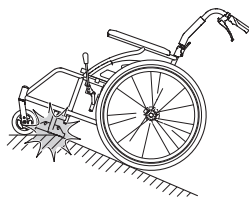
ステップ板の高さを調節する



付属品のスパナを使ってステップパイプの先端ボルトを少し緩め、ステップ板（フットサポート）適当な高さに合わせた後、ボルトを完全に締めてください。



ステップポストの高さは地面より 5 センチ以上でご使用ください。低すぎると凸凹路面や障害物にステップ板（フットサポート）があたり、転倒する恐れがあります。



背ベースシートを調整する

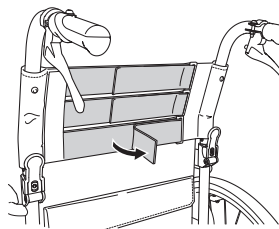
この車いすの背ベースシート、座クッション&バックサポートシート及び背クッションは搭乗者の体型に合わせて調整できます。

一番楽な姿勢が保持できるように調整してください。



- 面ファスナーに糸くず・汚れなどがついたときは取除いてください。
- ※ 接着力が弱まり、衝撃を受けた際に転倒事故の原因となります。

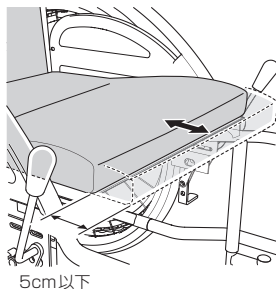
- 1.バックサポートシートの後面をめくり上げます。
- 2.背ベースシートの調整ベルトを搭乗者の体型に合わせて調整します
- 3.バックサポートシートの後面を元に戻します。



下から1番目を緩めて、2番目のベルトはピンツと張り、3番目以降を徐々に緩めていくことが張り調整のポイントです。

座クッションの前後位置を調整する。

- 1.座クッションの面ファスナーを座シートから取り外します。
- 2.座クッションを搭乗者の体型に合わせて前後に調整します。
- 3.座クッションの面ファスナーを座シートに取り付けます。

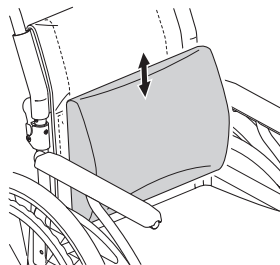


注意

- 座クッションは5 cm以上前に出さないよう注意してください。お尻がズレ落ちケガをするおそれがあります。
- 座クッションが面ファスナーでしっかり固定されていることを確認してください。使用中にズレてケガをするおそれがあります。

背クッションの上下位置を調整する。

- 1.背クッションの面ファスナーをバックサポートシートから取り外します。
- 2.背クッションを搭乗者の体型に合わせて上下に調整します。
- 3.背クッションの面ファスナーをバックサポートシートに取り付けます。



足こぎについて

座面高さが3段階に調節できます。
足こぎする際はかかとが着くように高さを合わせてください。

7. 車いすの使い方

7.1 移乗

車いすに乗る方を介助者がベッドなどから移す方法です。双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。

介助者が片足を相手の膝の間に差し込んで、腰を支えながら立ち上がさせます。

介助者の膝で相手を支えながら、車いすの方へお尻を向ける。

ゆっくりと腰を下ろしてもらおう。※「いち、にのさん」と声をかけながらおたがいに協力しましょう。



7.2 外出 車いすの安全な使い方は、“ゆっくり”“確実に”が基本です。

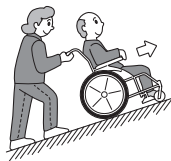
坂道

<上り坂>

押す人は身体を少し前に倒して、押し戻されないよう、一歩ずつしっかりと押します。

<下り坂>

坂を下るときはブレーキを軽く使いながら、後ろ向きに一歩ずつ下ります。また、安全ベルトを必ずご利用ください。



7.3 段差のある場所

<上がるとき>

ティッピングレバーを踏んで前輪を上げて進み、続いて後輪を押し上げます。

<下るとき>

後ろ向きでまず後輪をおろし、ティッピングレバーを踏んで前輪を上げたまま後進し、ゆっくりと下ろします。

※ 階段では車いす全体を持ち上げてください。



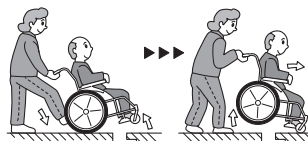
7.4 電車の乗り降り

<乗るとき>

ティッピングレバーを踏んで前輪を上げて電車に前輪を乗せます。次に後輪を持ち上げて直進します。ホームと電車の間は大きな車輪でもはさまることがありますのでご注意ください。電車のなかでは車いすを固定させて柱につかまるとよいでしょう。

<降りるとき>

後ろ向きに進みます。後輪を上げてホームにおろし、ティッピングレバーを踏んで前輪を上げて後進します。



8. 点検・整備する

8.1 日常点検リスト

車いすを使用する前に各部の安全確認を行ってください。
付属のスパナを使用する場合、薄手の手袋を装着してください。

点検項目	点検内容
装着品の確認	フットサポートは装着されていますか
	背クッション、座クッションは装着されていますか
車輪	空気が抜けていませんか
キャスタ	キャスタ輪はしっかり固定されていますか
駐車用ブレーキ	車輪はしっかりと止まりますか
介助ブレーキ	車輪はしっかりと止まりますか
アームサポート	しっかり固定できていますか
フットサポート	フットサポートはしっかり固定されていますか
フレーム	まっすぐに走りますか
	各部ボルトやナットが緩んでいませんか

8.2 定期点検リスト

安全に使用して頂くためにご自身または取扱店で定期的に点検をして頂きますようお願いいたします。
長期間使用されなかった場合もリスト内の点検をしてください。
点検後、必要に応じて部品交換または各部調整をしてからご利用ください。

点検項目	点検内容	点検者 年月日	点検者 年月日	点検者 年月日
装着品の確認	フットサポート			
	背クッション、座クッション			
車輪	空気圧は 280kPa(軟式野球ボール程度の硬さ) ですか ¹⁾			
	緩み、損傷、摩耗はありませんか			
	タイヤバルブに緩み、損傷はありませんか			
	キズ、ひび割れはありませんか			
	異物が刺さっていませんか			
キャスタ	しっかり固定されていますか			
	キャスタ輪はしっかり固定されていますか			
	キズ、ひび割れはありませんか			
	異物が刺さっていませんか			
駐車用 ブレーキ	車輪はしっかりと止まりますか			
	取付部が緩んでいませんか			
介助 ブレーキ	車輪はしっかりと止まりますか			
	取付部が緩んでいませんか			
	効きに左右差はありませんか			
	ブレーキワイヤに切れ、ほつれはありませんか			
アーム サポート	しっかり固定されていますか			
	キズや亀裂はありませんか			



1) 当社は「英式バルブ」のタイヤを採用しているため、単体の圧力ゲージでも英式バルブの正確な空気圧測定はできません。空気圧は目安になります。

点検項目	点検内容	点検者	点検者	点検者
		年月日	年月日	年月日
フットサポート	フットサポートはしっかり固定されていますか			
	フットサポートが自重で落下しませんか			
	キズや割れはありませんか			
シート	著しいたるみはありませんか			
全体	各部にガタつきはありませんか			
	ボルト・ナットが緩んでいませんか			
	異音はありませんか			
	車輪とキャストは全て地面に接地していますか			
	まっすぐ走行しますか			
	折りたたみはスムーズに行えますか			

9. 清掃する

清掃する

■ 金属部分（主フレーム）

主フレームなどの金属部は、乾いた布でよく汚れを落として、自動車のワックスをかけ、乾いた布で拭き取ってください。スポークの通常のお手入れは、水を用いずに汚れを落とす程度で十分です。凹凸のある部分の汚れ、頑固に固着した汚れは、市販の中性洗剤を用いてください。

■ 樹脂（プラスチック）部

樹脂部品には、市販の中性洗剤を使用ください。

■ クッション、シート類

シート部分をぬるま湯で拭き、きれいな水で仕上げ拭きを行い、乾かしてください。面ファスナーに糸くず、汚れなどが付いたときは取除いてください。取除かないと、接着力が弱まり、衝撃を受けた際に転倒事故の原因となります。

<汚れがひどいとき>

- ・汚れがとれにくい場合は、中性洗剤を用いてください。その後、乾燥させてください。
- ・しみは、スポンジまたは柔らかいブラシを用いて取除いてください。
- ・洗う場合は、ぬるま湯で手洗いしてください。洗濯機、乾燥機の使用はお避けください。
- ・クッション表面に面ファスナー（オス）が接触しないようにしてください。
（クッション生地のはつれ、けばだちの原因となります。）

10. 仕 様

品番	CA-4331A	CA-4331N
	エアタイヤ	ノーパンクタイヤ
座幅 (mm)	400	
前座高さ (mm)	420/400/380 (クッションなし)	
フットサポート・シート間距離 (mm)	330 ~ 360	
後座高さ (mm)	400/380/360 (クッションなし)	
シート奥行 (mm)	400	
背もたれ高さ (mm)	445	
肘掛け高さ (mm)	270	
最大外形寸法 高さ (mm)	900 / 880 / 860	
最大外形寸法 幅 (mm)	585	
最大外形寸法 長さ (mm)	1000	
折りたたみ寸法 (mm)	(縦) 950 × (横) 300 × (高さ) 685 / 665 / 645	
製品重量 (kg)	14.4	14.0
後車輪 (駆動輪)	22 インチ エアタイヤ バンド式 黒樹脂ハンドリム	22 インチ ハイボリマータイヤ バンド式 黒樹脂ハンドリム
(タイヤ)	22×1 3/8	
(チューブ)	22×1 3/8 英国バルブ	22×1 3/8 -
(ハンドリム)	22 インチ 黒色樹脂 (波型)	
前車輪 (キャスト)	5 インチ ゴムタイヤ アルミ製フォーク	
フレーム	アルミ製 粉体塗装仕上げ	
背シート	ナイロン製、黒色 調整ベルト付き	
座シート	ナイロン製、黒色	
背クッション	カバー (表面) : PU 製 ダークグレー色	
	カバー (裏面) : ナイロン製、黒色	
	中材 : ウレタン製、PVC プレート付	
座クッション	カバー (表面) : PU 製 ダークグレー色	
	カバー (裏面) : PU 製、ダークグレー色	
	中材 : ウレタン製、PVC プレート付	
背折れ	あり	
ハンドグリップ	黒色 PVC 製	
アームサポート	固定式 EVA 製	
フットサポート	折りたたみ高さ調整式	
駐車ブレーキ形式	トグル式	
介助ブレーキ形式	バンド式	
SG マーク	なし	
JIS マーク	なし	
耐荷重	100kg (積載物含む)	

11. 保証について

11.1 保証書

保証書

品名／品番 animato／CA-4331A, CA-4331N		保証期間		★ お買い上げ日 年 月 日より1年間	
お客様	お名前	★ 販売店			
	〒 〇 〇 〇 () ご住所				
			☎ ()		

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので必ずご確認ください。
この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、ラベル類などの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

【保証規定】

- 1.保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。

2.次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。

(1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷

(2) 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷

(3) お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
- (4) 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷

(5) 保証書のご提示がない場合

(6) 本保証書の保証期間および販売店名の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 3.本保証書は日本国内においてのみ有効です。
● This warranty is valid only in Japan

4.本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

■ 修理を依頼されるとき

◎ 連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号
- お買い上げ日
- 故障、または異常の内容（できるだけ詳しく）
- お名前、ご住所、および電話番号

◎ 保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。
ただし、保証期間内でも修理が有償となる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 製品の最低保有年数は

弊社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有年数を製造打ち切り後、7年としております。

11.2 保証期間終了後

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

12. 保管する

車いすは、お手入れ後、安全な場所に保管してください。

■ 長期保管について

半年以上未使用の状態では保管すると、チューブ・虫ゴム・タイヤなどのゴム製品が劣化しているおそれがあります。日常点検を実施して、必要があれば部品を交換してから使用してください。

13. 故障かな？と思ったら

車いすを使用されていて“おかしいな”と思ったら下表をご確認ください。

表以外の異常が発生した場合はそれ以上使用せず、取扱店にご相談ください。

車いすを使用する前に各部の安全確認を行ってください。

症状	確認事項	対応
駐車用ブレーキが効かない	空気圧は 280kPa(軟式野球ボール程度の硬さ) になっていますか ¹⁾	空気を入れてください
	取付部が緩んでいませんか	取扱店に相談してください
介助ブレーキが効かない	ブレーキワイヤに切れ、ほつれはありませんか	取扱店に相談してください
	ブレーキワイヤがフレームなどに引っ掛かっていませんか	引っ掛かりを取除いてください
まっすぐ走らない	車輪の空気圧は左右とも適正ですか	空気を均等に入れてください
	車輪もしくはキャストが摩耗していませんか	取扱店に相談してください
	フレームが変形していませんか	取扱店に相談してください
フットプレートが自重で落下する	ネジの締付けが緩んでいませんか	取扱店に相談してください
フットサポートが落下する	ポスト先端ボルトはしっかり固定されていますか	付属の六角レンチ (6 mm) で増締めしてください
車輪の空気がすぐに抜ける	タイヤバルブが緩んでいませんか	取扱店に相談してください
	タイヤに異物が刺さっていませんか	取扱店に相談してください
	タイヤに亀裂、穴が開いていませんか	取扱店に相談してください



1) 当社は「英式バルブ」のタイヤを採用している為、単体の圧力ゲージでも英式バルブの正確な空気圧測定はできません。空気圧は目安になります。

ランドルコーポレーション事業所

万が一不具合等ございましたら、販売店またはお近くの
営業所・サテライトまでお問い合わせください。

本社	〒 351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1 TEL.048-475-3661 FAX.048-475-3712
施設営業部	〒 351-0034 埼玉県朝霞市西原 1-7-1 TEL.048-475-3662 FAX.048-475-3712
本社工場	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 421 TEL.049-259-4433 FAX.049-259-4430
札幌営業所	〒 065-0042 北海道札幌市東区本町 2 条 3-10-1-142 TEL.011-787-5100 FAX.011-780-5117
青森サテライト	〒 030-0921 青森県青森市原別 8-9-1 TEL.017-736-9535 FAX.017-736-9534
八戸サテライト	〒 039-1164 青森県八戸市下長 8-10-8 TEL.0178-20-8212 FAX.0178-20-8213
秋田サテライト	〒 010-0941 秋田県秋田市川尻町字大川反 170-81 TEL.018-893-3861 FAX.018-893-3862
岩手営業所	〒 020-0846 岩手県盛岡市流通センター北 1-2-20 TEL.019-614-3007 FAX.019-639-0631
仙台営業所	〒 984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 4-8-10 TEL.022-782-5286 FAX.022-782-5287
埼玉営業所	〒 354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 421 TEL.049-274-3132 FAX.049-274-3134
八王子サテライト	〒 193-0824 東京都八王子市長房町 22-26 TEL.0426-68-9168 FAX.0426-68-9167
東京営業所	〒 120-0005 東京都足立区綾瀬 1-20-18 TEL.03-5629-5080 FAX.03-5629-5081
千葉サテライト	〒 262-0022 千葉県千葉市花見川区南花園 2-9-21 RT サンライト 101 号室 TEL.043-213-5775 FAX.043-273-5754
横浜営業所	〒 220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-30-6 TEL.045-317-6052 FAX.045-317-6053
名古屋サテライト	〒 485-0059 愛知県小牧市小木東 1-12 TEL.0568-43-0790 FAX.0568-43-0830
大阪営業所	〒 578-0981 大阪府東大阪市島之内 2-14-27 TEL.072-960-3600 FAX.072-960-3700
兵庫サテライト	〒 651-2132 兵庫県神戸市西区森友 1-157 TEL.078-995-5982 FAX.078-995-5984
岡山サテライト	〒 700-0975 岡山県岡山市北区今 8-3-35 TEL.086-242-6055 FAX.086-242-6066
福岡営業所	〒 818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1027-2 オフィスパリア筑紫野Ⅳ 3 号室 TEL.092-924-8586 FAX.092-924-8587